

# 1 計画策定の趣旨

総合計画は、総合的かつ計画的な行政運営の指針となるものであり、時代の潮流や市民意識の変化に的確に対応しながら、まちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための施策や事業を示すものです。甲府市においては、昭和45年「甲府市総合計画」の策定以来3回にわたる改定を行い、平成9年からは「新甲府市総合計画」に基づきまちづくりを推進してきました。

今日の社会経済情勢は大きな変革期を迎え、甲府市においても、少子・高齢化が進行する人口減少社会の到来、地震などの災害への高まる不安、環境問題への取り組み、長引く景気の低迷による税収の落ち込みなどの影響を受け、行財政運営は厳しい状況におかれています。

このような状況を踏まえて、甲府市の将来あるべき姿を創造するため、市民の参画・協働に基づく市民サービスの推進を基本とし、自立する自治体の構築に向けて計画的で実効性のある市政運営指針として、新たに第五次甲府市総合計画を策定するものです。

## 甲府市総合計画の変遷

